

1. 単元名『塩浜ふるさとの生き物発見！』（第1部）

2. 単元の目標

- 塩浜の生き物や自然に興味を持ち、意欲的に調べたり、詩を作成したりすることができる。
- 塩浜の生き物の生態について理解することができる。
- 調べたい生き物と調べたいことを自分で決め、調べる計画を立てたり、必要な情報を集めたりすることができる。

3. 児童の実態

1名以外の児童が旧塩浜小学区から通っている。勝手知ったるハイタウン内では、遊ぶ約束をせずとも、公園に行けば、友達がいと一緒に遊べる環境にあり、男女ともに放課後や休日には遊んでいるようだ。そのため塩浜のことを「自分の町」と思い愛着を持っている児童は多い。調べる活動では、適した図書資料を分類や書名から選ぶことはできるが、その本の中から調べたいことが書かれているところを見つけることが難しい児童が多い。図書資料から調べる、という活動の経験の少なさもあるが、文字をすらすらと読めなかったり、明確に何を調べるのかよくわかっていなかったりすることが原因であると思われる。表現する活動については、昨年度町たんけんの発表会を行い、グループで一つの壁新聞にまとめて発表する経験をしている。理科で積み重ねている観察カードの内容も経験を重ねるたびにたくさんの発見をし、文章で表現することができるようになってきた。また、毎日音読している「のはらうた」を真似して、生き物や自然になりきって詩を書く活動でも、どんどん発想が膨らみ、楽しい詩を書けるようになってきている。しかし、自分が書いたものを友達に発表するとなると、しり込みをする児童は多い。自信のなさがかがえる。本単元では、調べたことを詩で表現する活動なので、恥ずかしがる児童は多いと思われるが、作った詩を友達と交流することで、表現活動への自信もつけていきたい。



ここでつきたい力(評価規準)

ふるさとへの関心・意欲・態度

- ・ふるさとの自然や環境について興味を持ち、意欲的に調べることができる。また、調べたことや体験したことを進んで伝えることができる。
- ・ふるさとへの愛着を持ち、その環境を守り、大切にしたいという気持ちで活動に取り組んでいる。

ふるさとについての知識・理解

- ・ふるさとの自然や生物について理解している。
- ・他校と比べることができる。

問題解決の能力

- ・様々な体験や経験から自分が発表したいテーマを選ぶことができる。
- ・必要な情報を調べまとめることができる。

コミュニケーション能力

- ・調べ事柄などについてわかりやすく伝えるために、発表のしかたなどを工夫している。
- ・友達の考えを理解するとともに、友達の意見や発表に関心を持っている。

7. 塩浜ふるさと防災科年間活動計画(総時数75時間)

第1部 『塩浜ふるさとの生き物発見！』

(19時間)

- ・鴨場見学(5)
- ・鳥獣保護区見学(5)
- ・塩浜の生き物について詳しく調べる(5)
- ・調べたことを踏まえて、その生き物になりきって「しおはまうた」を作る(1)
- ・「しおはまむら」の地図を作成する(2)
- ・「しおはまむら」の地図を完成させる(1)

第2部 『もっと調べたい！ふるさと塩浜』

(26時間)

- ・鳥獣保護区見学(6)
- ・塩浜の生き物について詳しく調べる(8)
- ・調べたことを図鑑・模造紙・しおはまうたに表そう(6)
- ・調べて分かった「楽園！塩浜」(6)

第3部 『楽園しおはまを守りたい！』 (30時間)

- ・もっと素晴らしい塩浜に(3)
- ・塩浜守り隊活動開始！(3)
- ・「楽園！塩浜」を伝える計画を立てよう(5)
- ・伝えるための準備をしよう(12)
- ・グループで計画を立てよう(1)

4. 期待する児童像【学年目標】

二年 ぶつてん 田いり川

5. 教師の思いや願い・手立て

- 自分たちが知っている塩浜だけでなく、もっと広く「塩浜」をとらえ、そこにはたくさんの自然があることに気づかせたい。
- 自然いっぱい塩浜を誇りに思う気持ちを持ってほしい。
- 「しおはまうた」を作る活動にすることで、調べ学習への意欲を高めるとともに、一人一人が目的意識を持って調べ学習を進めていけるようになってほしい。
- 調べた内容を表現する新しい方法として「しおはまうた」(詩)を作ることで、さまざまな表現方法があることに気づかせたい。

6. 学校行事・他教科との関連

しぜんのかんさつをしよう・植物をそだてよう・動物のすみかをしらべよう(理科)

季節ごとの動物や植物の特徴をとらえる活動を通して、動物や植物の成長と環境とのかかわりについての見方や考え方もつ。

生き物のとくちょうをくらべて書こう(国語) 手紙を書こう(国語)

図や資料を使って、工夫をして書くことができる。お礼の手紙を書く。

たからものをしようかいしよう(国語) 町の行事について調べよう(国語)

聞き手にわかるように、筋道を立ててわかりやすく話すことができる。

わたしたちのまちを調べよう(社会)

学校のまわりの様子がわかる。

8. 成果(○)と課題(●)

○鴨場見学や鳥獣保護区見学など、体験的な活動をたくさん取り入れたことで、塩浜に生息する生き物への興味・関心を高めることができた。

○調べたことが、どのように形になるのかを事前に示したことで、具体的なゴールの姿を想起しながら調べ学習に取り組むことができた。

○調べ学習の時間を確保し、子どもたちがたっぷり生き物を調べることで、塩浜に愛着を持つことができた。

○たくさん調べたことで、たくさんの生き物が住む塩浜を守りたいという気持ちを持つことができた。

●塩浜の「生き物」についての学習のみで、昨年度取り組んでいた栽培活動に広げることができなかった。

●調べ学習の個人差への対応がしきれなかった。

●調べた内容の正しい理解への手立てが不十分だった。